

.....編集後記.....

◆5-6月号の2冊にわたった天然記念物特集が完了しました。寄稿された皆様と資料を提供された地方自治体の関係者にここで改めてお礼申し上げます。

◆この特集を企画された地質調査所前所長の石原舜三氏からは、超多忙であるにもかかわらず、特に本号では実際の編者と言えるほど多大なご助力を頂きました。編集委員会として厚くお礼申し上げます。

◆長期の連載にした方が良かったのでは、というご意見も頂いておりますが、2冊にまとめた事でむしろ利用し易くなっていると筆者は考えます。

◆最近休日を利用していくつかの天然記念物を現地を訪ねてみると、解説板が無かったり、余りに貧弱だったりして、驚かされる例が少なくありませんでした。よく知られた横山衝上断層(5月号口絵4)も、名称のみが書かれた白ペンキの柱が道端の草に埋もれているだけで、解説板は見つからず、近くのドライブインで聞いてやっと高原川河床への下り口が分かった程でした。近くに横山トンネルができ、旧道が封鎖されたので、旧道脇のこの標識さえ国道を通る人の目にとまる事はまず無いでしょう。この衝上断層については、梶田澄雄編著「日曜の地学11—岐阜の地質をめぐる—」にわかりやすい解説があるのですが、同様の解説が現地でも見られればと惜しまれます。地質学と市民をつなぐ媒体としての役割を果たすであらう現地解説板が、当局の施策とし

て今後充実されていく事を期待したいと思います。

◆さて先月号は、「どんな結果になりますか……。」という表現で印刷工程変更の結果に期待と不安を書いて編集後記を終えたのですが、入稿後のさまざまなトラブルで発行が遅れ、それまでの遅れを一気に挽回しようとした計画は完全に崩れてしまいました。月刊誌の維持には、生き物を飼うような緊張した関係プレーが必要で、何処かが抜けても必ず失点が返って来る反面、特効薬は無く、やはり着実に軌道に乗せつつペースを取り戻して行くしかなさそうです。

◆IGCを記念して、地質調査所では、今回の特集で取り上げた天然記念物を中心に12枚組の絵はがきを出版します(編者：前所長石原舜三氏)。7月中旬完成後まず京都のIGC会場で参加者に配布・販売される予定です。

◆3-4月にかけて、文献交換を原則として本誌をお届けしている公的機関に対し、折込でアンケートを送りました。限られた予算の枠内で配布している本誌をより有効に活用して頂くための基礎資料を得るのが目的で、この結果、回答のなかったいくつかの機関への配布を中止または削減しました。同じく予算上の制約から、所内への配布も大幅に削減しましたので、ご理解の程を宜しくお願い致します。

副委員長 佐藤興平 記

[誤植訂正]

5月号口絵1頁下端：石英片石(誤)→石英片岩(正)
目次：弓張岳(誤)→夕張岳(正)

購読者募集中 申し込みは編集委員会へハガキで

地質ニュース	第454号 1992年6月号
	定価 ¥ 770 千実費
1992年6月1日 発行	
編集	工業技術院地質調査所
発行人	林久雄
発行所	株式会社実業公報社
	東京都千代田区九段南4の2の12
	〒102
	Tel. (03)3265-0951 (代表)
	振替口座 東京 1-32466
	麹町局私書箱第21号
印刷	小宮山印刷工業株式会社

©1992 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。

地質ニュース編集委員会

委員長：佐藤壮郎
副委員長：佐藤興平・磯部一洋
幹事：宮崎光旗・奥村公男
委員：柴田賢・滝沢文教・岡村行信・村岡洋文・渡部芳夫・井内美郎・金沢康夫・佐藤岱生
事務局：総務部業務課広報係(山口秀樹・清水真寿美)
〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所
地質ニュース編集委員会
事務局 Tel. 0298-54-3520
Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ